Testing

新 TOEIC®テスト -より現実のコミュニケーションに近いテストへ-
The Redesigned TOEIC® Test -More Authentic-

発表者 山田 拓
 (財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会)

1. TOEIC の開発理念

TOEIC(Test of English for International Communication)は英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストとして 1979 年にスタートした。すべての日本人が世界中の誰とでも円滑にコミュニケーションできる英語能力を身に付け、グローバルに活躍するためには、「世界で通用するコミュニケーション英語能力」とはどのようなものなのかを明確かつ客観的に示し、かつ英語学習の方向性を定めることができる国際的なものさしが必要であるという理念のもと、米国の非営利テスト開発機関 ETS(Educational Testing Service)にテスト開発が依頼され TOEIC テストが誕生した。

2. ETS のミッションと TOEIC テストリニューアル

2006 年 5 月実施の第 122 回公開テストより TOEIC テストがリニューアルされた。TOEIC テストの制作元である ETS は TOEIC テストの他、TOEFL、TOEIC Bridge など多くのテストを開発・運営している。ETS は「公正で妥当な評価、リサーチ、関連サービスの提供を通じて、教育の質と公平性の向上に貢献する」ことをミッションとしているため、テストが利用される市場環境やニーズを常に把握し、そのテストが目的にふさわしく機能しているかを検証し続けることが大変に重要なテーマとなっている。今回のリニューアルは、ETS の「測ろうとしている能力」に合致したテストを開発することでテストの妥当性を高め、英語能力の向上や学習の一助とする事業ミッションに基づいている。ETS は国際的な環境におけるコミュニケーションで使われる英語について調査・検証を重ね、そこで必要とされる英語能力について評価するため、一部の問題形式の変更が妥当と判断した。

3. 調査・検証について

TOEIC テストのリニューアルは以下の調査・検証、経験に基づいている。

- 3 年、30,000 時間の開発期間
- 下記詳細項目の調査・分析・検証

1. Global Survey	3. 現行 TOEIC テストの 25 年分の実施データ
2. ETS のその他の英語テスト	4. 調査・研究(iBT 開発時のものなど)
- TOEIC を実施している国のレップからの意見など

4. More Authentic -より現実のコミュニケーションに近いテストへ-

新 TOEIC テストでは問題作成において More Authentic(より実際の)というコンセプトが基本となっている。これは実際のコミュニケーションで必要とされる英語能力を評価するために、より現

9月9日(土) 賛助会員発表 第1室 (2115)

実に即した状況や設定をテスト上でも再現するというものであり、具体的には次の特徴を備えている。

- 問題文の長文化
- 発音のバラエティの増加(米国・英国・カナダ・オーストラリア、各発音の出題の割合は25%ずつ)
- 誤文訂正問題の削除
- 「要点がわかる」「推測できる」といった能力に加え、言語運用能力の基礎をなす文法・語彙・音声識別能力をより幅広く測定

題材にはこれまでどおり、一般的な、またはビジネスでのコミュニケーションの場面が採用されており、特殊なビジネス英語の知識を必要としたり、その国の歴史や文化に関連する固有の事象が分からなければ解答できない問題はない。

4. 問題形式の変更点

問題形式は以下のように変更

現行TOEICテスト				新TOEICテスト			
パート	Name of each part	パート名	問題数	パート	Name of each part	パート名	問題数
リスニング セクション(45分間)				リスニング セクション(45分間)			
I	Photographs	写真描写問題	20	1	Photographs	写真描写問題	10
II	Question-Response	応答問題	30	2	Question-Response	応答問題	30
III	Short Conversations	会話問題	30	3	Short Conversations	会話問題	30
IV	Short Talks	説明文問題	20	4	Short Talks	説明文問題	30
リーディング セクション(75分間)				リーディング セクション(75分間)			
V	Incomplete Sentences	文法・語彙問題	40	5	Incomplete Sentences	短文穴埋め問題	40
VI	Error Recognition	誤文訂正問題	20	6	Text Completion(新)	長文穴埋め問題	12
VII	Reading Comprehension	読解問題	40	7	Reading Comprehension	読解問題	
					・Single passage	1つの文書	28
					・Double passage(新)	2つの文書	20

なお大会当日は、問題形式の変更の背景にある ETS のテスト制作に対する姿勢、考えも併せて紹介する予定である。

5. フィードバックについて

新 TOEIC テストのフィードバックについては ETS で検証を進めており、Listening と Reading のパート別診断情報、および能力分野毎の正答率の表示など、旧 TOEIC テストよりも詳細なものが可能になる。

6. 団体特別受験制度(IP: Institutional Program)について

IP テストにおける新 TOEIC テストの導入は 2007 年度以降の導入を検討。決定次第、公式ホームページ等で告知を実施。

※TOEIC 公式ホームページ <http://www.toeic.or.jp/>

(2005 年 2 月現在)

以上